



笑顔あふれるまち田代

— 田代地区まちづくり推進計画 —



田代地区まちづくり推進協議会



田代地区まちづくり推進計画策定にあたり

田代地区まちづくり推進計画を刊行するにあたり、ごあいさつを申し上げます。
小学校区を単位とした新しい住民自治組織として平成23年6月(2011年)に「田代地区まちづくり推進協議会」が発足しました。

この組織は、地域のまちづくりについて地域の皆さんで考え、地域の長所の活用策や課題解決に取り組んでいく組織です。

以前は「向こう三軒両隣」といって、近所付き合いは当然としてお互いが助け合ってきた良き習慣があり、そこには信頼と安心によって結ばれた人間関係が存在していました。

まちづくり推進協議会の活動は人間関係の希薄化により、失われつつある「おかげさま」「おたがいさま」を見直し、再構築するチャンスだと思います。

ここに、これまでの10年間の推進計画を土台とし、さらに地域の特性や問題点を踏まえて、これから10年後の将来像を見据えた活動を計画しました。

笑顔あふれる歴史と文化のまちとして、人を守り、人を育て、人情味あふれ誰もが安心安全で、住んで良かったと思える地域にするための計画書です。
田代地区の長所の活用策や課題解決に向け、私たちにできることを考え、私たち自身で実践していきます。

この計画を目標として掲げ、地域住民の多世代交流で参加できる行事、イベントを実施し活力ある町づくり、人とまちが共助して絆を深めながら、いかに実施し推進するかが重要ですので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、長い間ご審議いただいた皆さんに、心より感謝いたします。

会長 大石 光信

コミュニティーセンター

(田代まちづくり推進センター)「CC」

ピンク：「た」

黄色：「し」

水色：「ろ」

文字を探してみてください♪



目 次

1	まちづくり推進計画とは	2
2	田代地区の姿	
	(1)田代地区ってこんなところ	3
	①田代地区の概要	
	②人口	
	③行政区	
	④地域の活動	
	(2)田代地区のまちづくりを考えるアンケート	5
	(3)田代地区現況マップ	9
3	田代の将来像	10
	(1)田代を特徴づけるもの	
	(2)ふれあい・交流のシンボル	
	(3)まちづくりの基本理念	
	(4)田代地区シンボルマーク	
4	まちづくり推進計画	12
	(1) 1人1人の心がけと助け合いで安全・安心な田代を創ろう！	
	(2) 思いやりで笑顔広がる田代を創ろう！	
	(3) 多世代交流を通し支え合う田代を創ろう！	
	(4) 地区の歴史・文化を継承し学ぶ田代を創ろう！	
	(5) 子どもの未来に繋がる田代を創ろう！	
	(6) みんなでつなぐ美しい田代を創ろう！	
	(7) 住民主役のまちづくりを実践する田代を創ろう！	
5	まちづくり推進計画一覧表	14
6	まちづくり推進計画推進体制	15
7	まちづくり推進計画策定までの経過	16

1 まちづくり推進計画とは

田代地区まちづくり推進協議会は、平成 23 年 6 月に田代地区を

『歴史と文化のまちとして、人を守り、人を育て、人情味があふれ
笑いの絶えない安全安心で絆のあるまち』

とするために、様々な長所の活用や地域課題の解決を図り、地域住民一人ひとりが住んで良かったと思えるような地域社会を築くことを目的として設立しました。

田代地区まちづくり推進計画とは、地区の現状と課題を踏まえ、10年後(2031年度)の田代地区の将来像を明らかにした上で、その将来像を実現に向けて田代地区に住むみなさんが中心となってどのような活動をするか基本計画を整理したものです。

具体的な取組として、まず、地区の現状を把握するために、一部の世帯を対象としたアンケート調査を実施しました。

次にアンケートを基に7つの主要課題を導き出し、この課題を解決するために、どんな地区をめざすのか、どんなことに取り組むべきかについて、将来像とまちづくり推進計画に分けて整理しています。

まず、10年後の将来像については、地区住民の心のよりどころとなるシンボルを明らかにした上で、地域づくりの基本理念と将来像を整理しています。

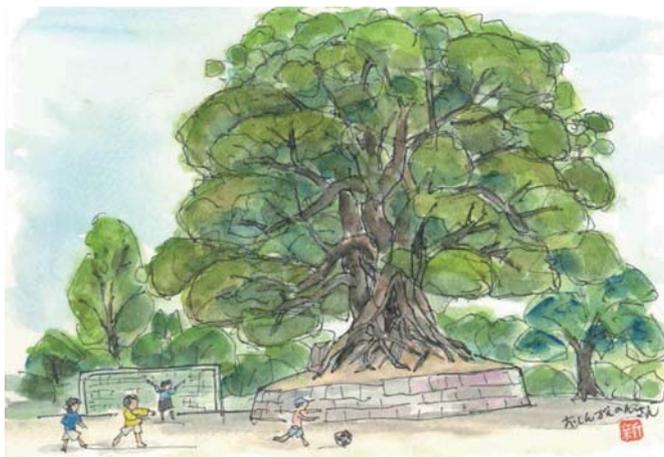
次に、将来像をみんなの力で実現に導くため、7つの基本テーマに基づくまちづくり推進計画を掲げています。

最後に、まちづくり推進計画を実施していくための体制を地域づくり体制として整理し、推進計画実現のためには、地区住民の多世代交流で参加できる行事・イベントを考え活気ある町づくり、人とまちが共助して絆を深めながら心を一つにし、相談し助け合いが出来る地域づくりをめざします。

なお、このまちづくり推進計画は、令和4年度から10年間とします。
ただし、状況の変化などがあった場合は必要に応じ見直します。

計画の期間

令和4年度(2022年度)～令和13年度(2031年度)



2 田代地区の姿

(1) 田代地区ってこんなところ

①田代地区の概要

田代地区は、鳥栖市の北東部に位置し、南北にJR鹿児島本線をはじめ国道3号線や県道17号線久留米基山筑紫野線、東西に長崎自動車道や国道34号線が走り、大木川が流れています。

田代という地名は、「高所の湿地をなす小平地に田を新しくこしらえた所」という意味で、中世に開発された所に多く付けられている地名です。

田代地区には古くから人が住みつき、とくに柚比・今町一帯では弥生時代に谷あいには水田を開き、墳丘墓がある大規模な集落ができ、当時の先進技術である安永田青銅器工房では銅矛・銅鐸などがつくられ、遠くは山陰地方まで運ばれていました。古墳時代のはじめには九州でも指折りの古さを誇る赤坂古墳がつくられ、6世紀代には長さ60～80mの前方後円墳が4基、豊かな装飾をもつ田代太田古墳などがつくられています。

またこの地区は、九州北部を東西南北にはしる昔からの交通要衝地です。古代には肥前道が南西方向に通り抜け、中世には当時の主要路である秋月街道の肥前国への出入り口にあたり田代町が形成されています。江戸時代は良く知られているように長崎街道の宿場町でもあり、対馬藩田代領の代官所の置かれた町でもありました。田代領では配置売薬が盛んで、現在の鳥栖市の主要産業でもある製薬業につながっています。

明治22年(1889年)の市町村制施行では、大字永吉・柚比・田代・神辺・萱方で田代村に、昭和11年(1936年)には田代町となり、昭和29年(1954年)他の4町村と合併し鳥栖市の一部となっています。合併頃の1950年代は、世帯数1,018戸・人口6,036人でしたが、令和3年(2021年)では世帯数2,626戸・人口5,935人(神辺・萱方・弥生が丘除く)となっています。(鳥栖郷土研究会 藤瀬禎博さん)



代官所通用門(個人宅)



東明館跡



田代昌町追分石



田代外町追分石

②人口

地区の人口は 5,935人で10年前に比べ 899人増加しています。
 高齢化率は27.3%で、約4人に1人が65歳以上の高齢者となっていますが、行政区によっては既に3人に1人が65歳以上の高齢者となっているため、来るべき高齢化社会に向けて、団体間の横の連携を深める必要があります。

③行政区

田代地区には9の行政区があります。

田代昌町	田代新町	田代上町	田代外町	田代外町住宅区
田代大官町	田代本町	永吉町	加藤田町	

④地域の活動



田代昌町・清掃作業



田代新町・ほんげんぎょう



田代上町・しめ縄



田代外町・ふれあいフェスタ



田代外町住宅区・清掃作業



田代大官町・灯明



田代本町・ほんげんぎょう



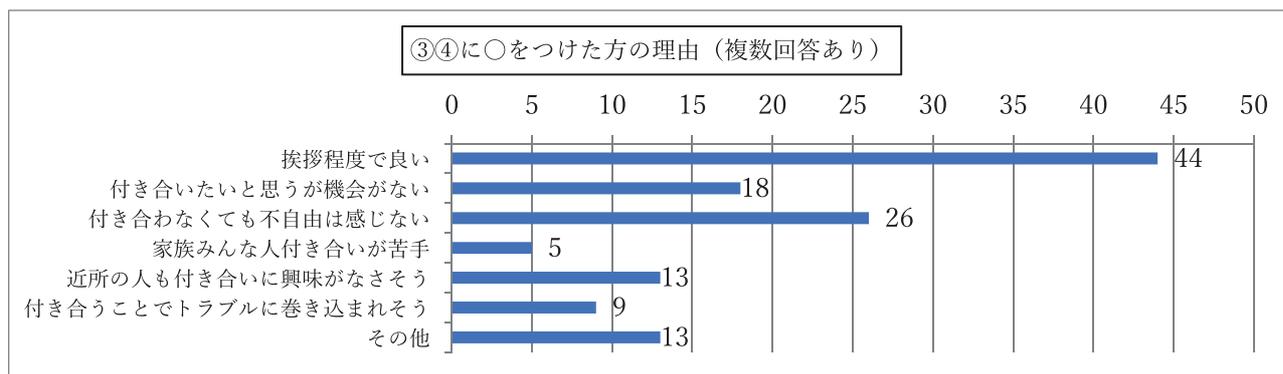
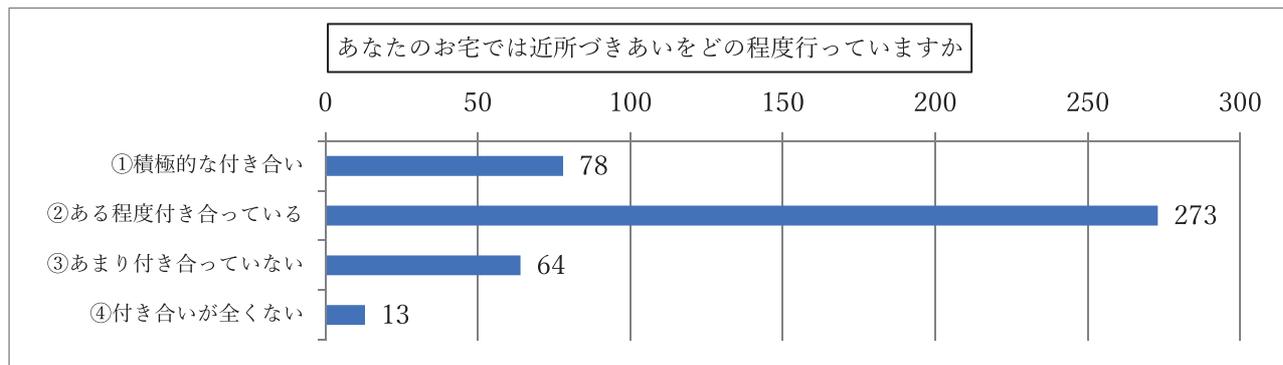
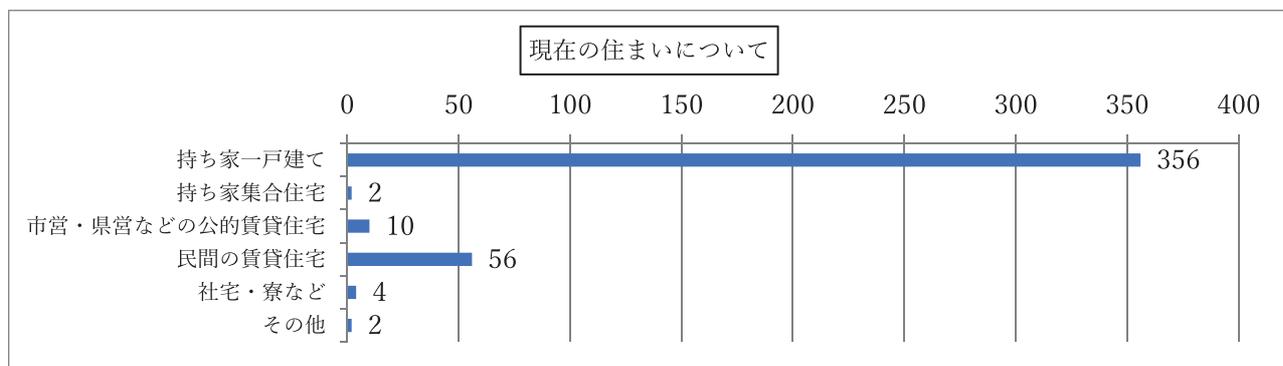
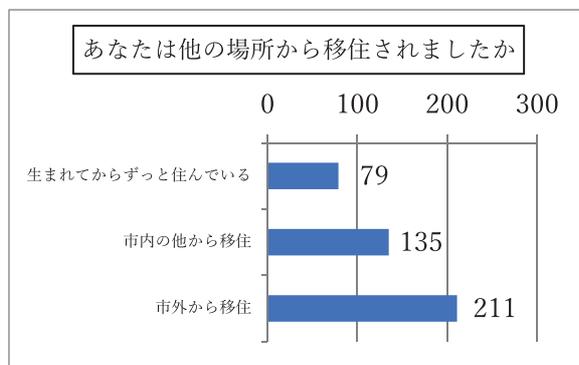
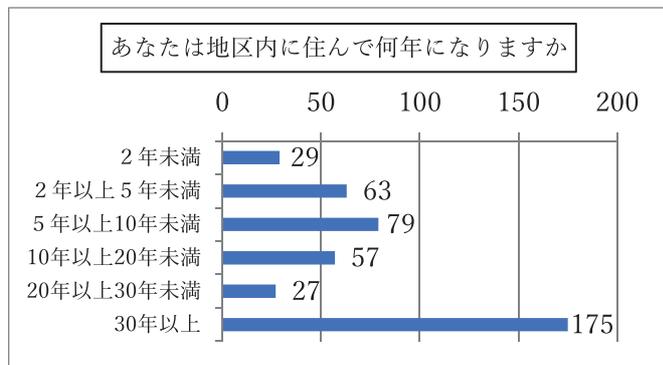
永吉町・茅の輪くぐり

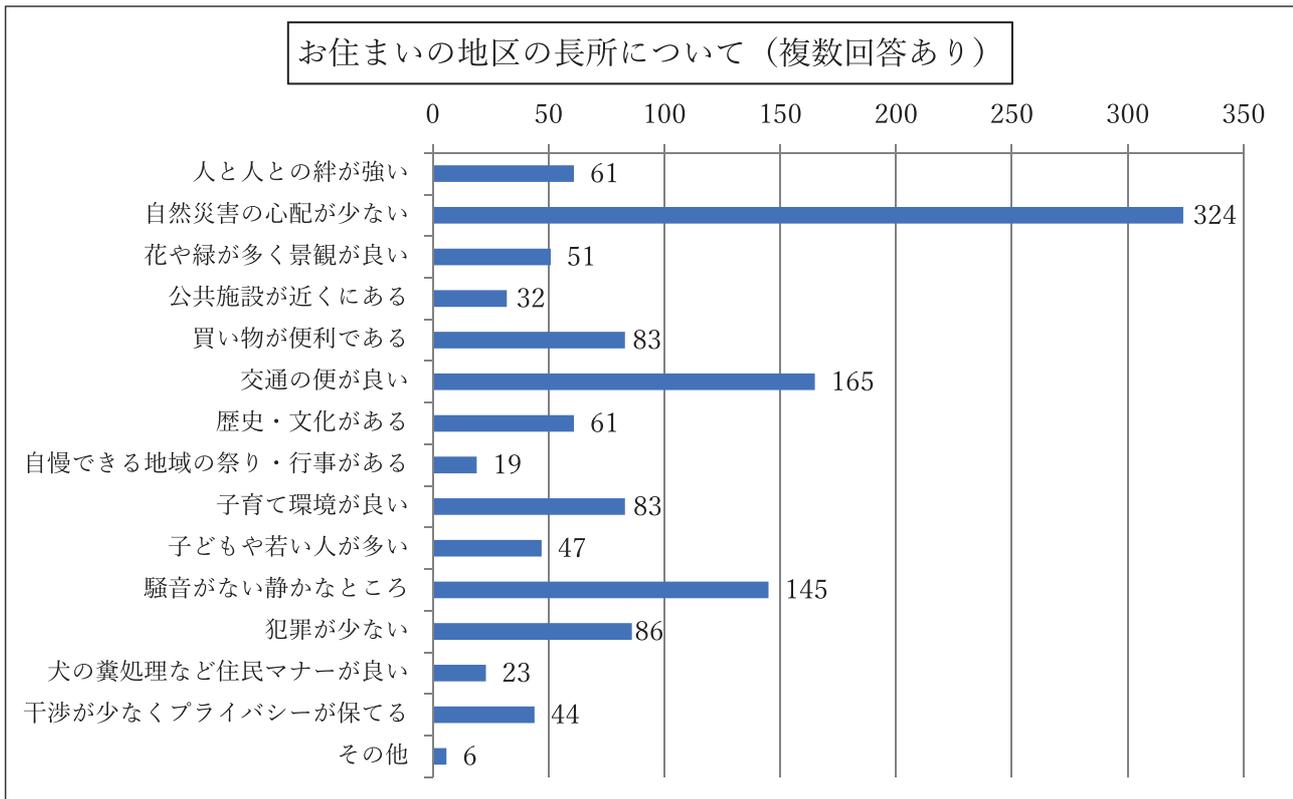
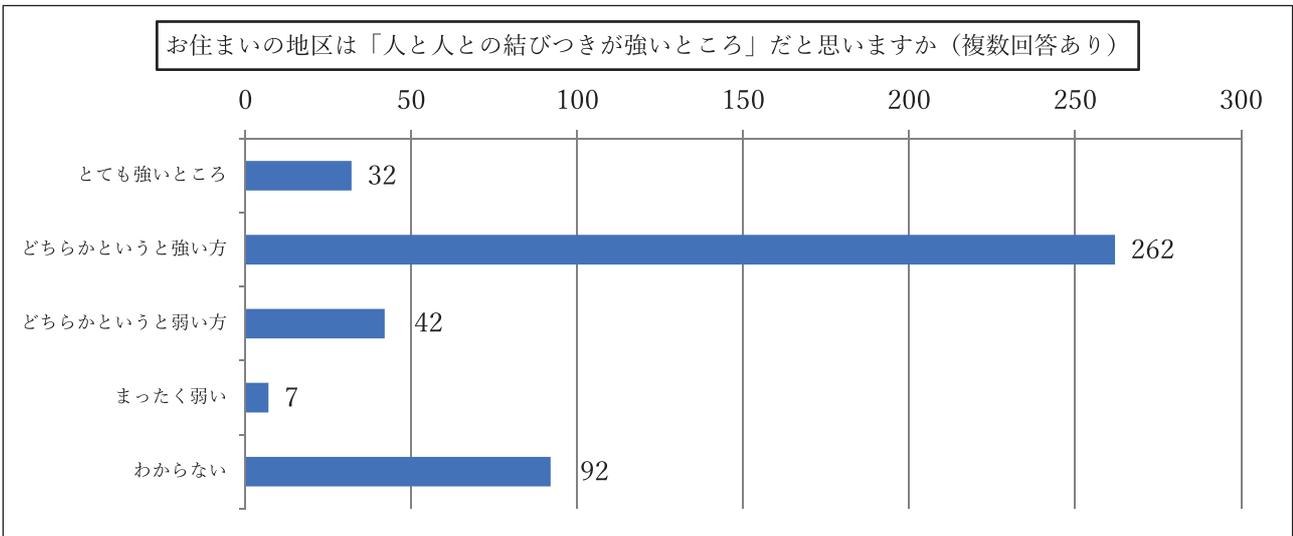
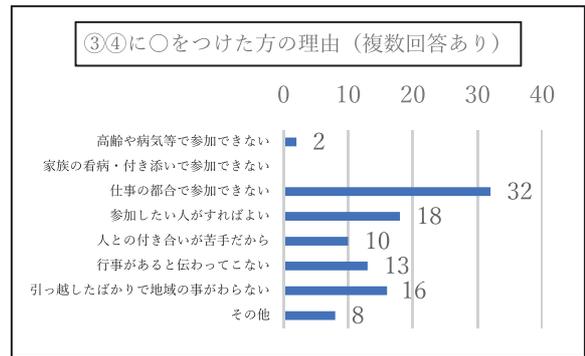
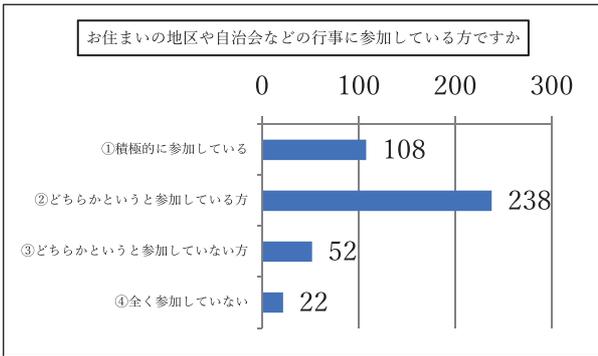


加藤田町・餅つき

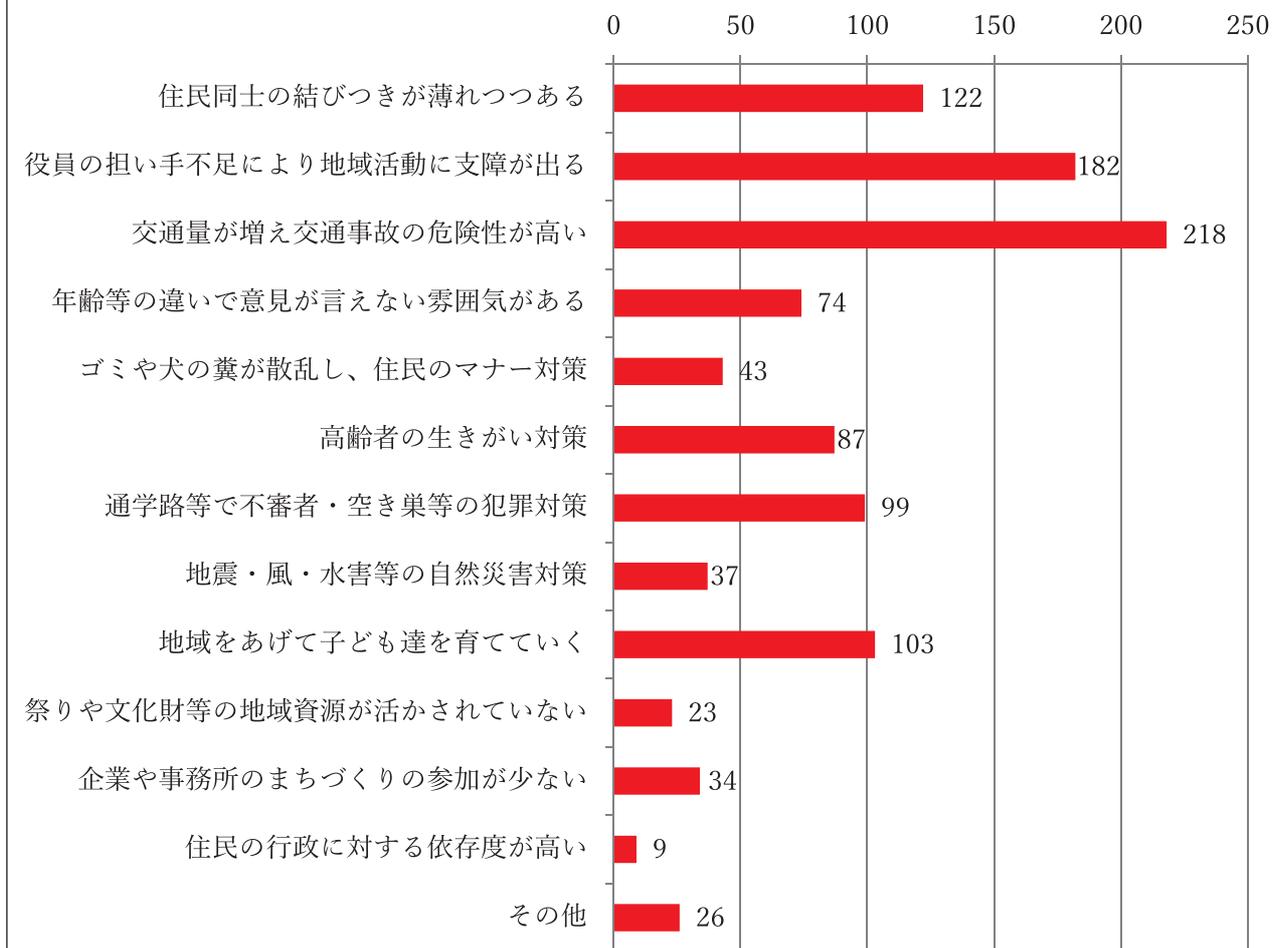
(2) 田代地区のまちづくりを考えるアンケート

田代地区の現状と課題を把握するために、令和3年8月に一部の世帯を対象にアンケート調査をしました。612世帯のうち436世帯から回答が得られ、回答率71%でした。

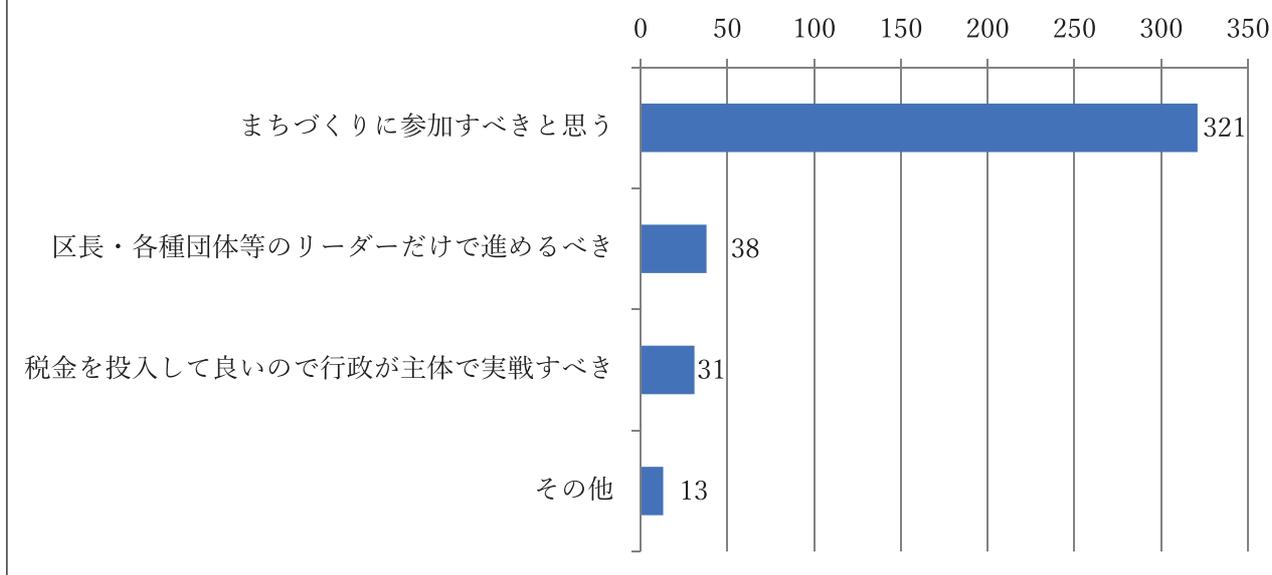


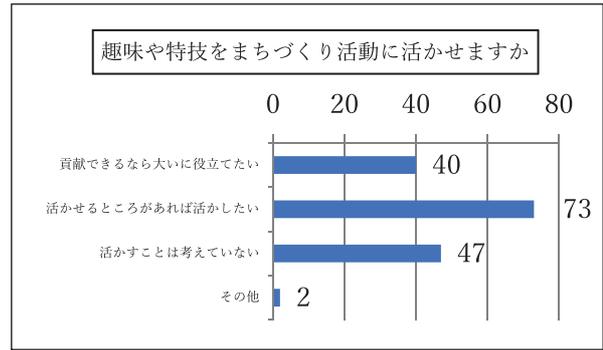
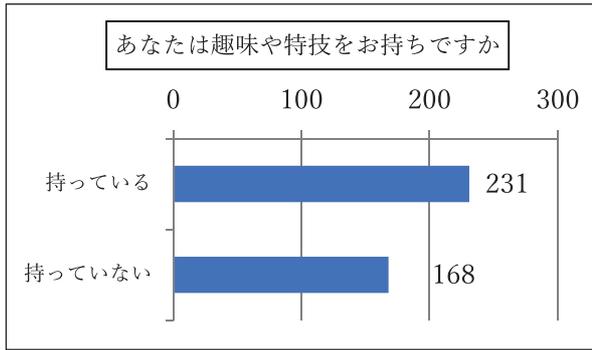


お住まいの地区が抱える主な地域の課題について（複数回答あり）



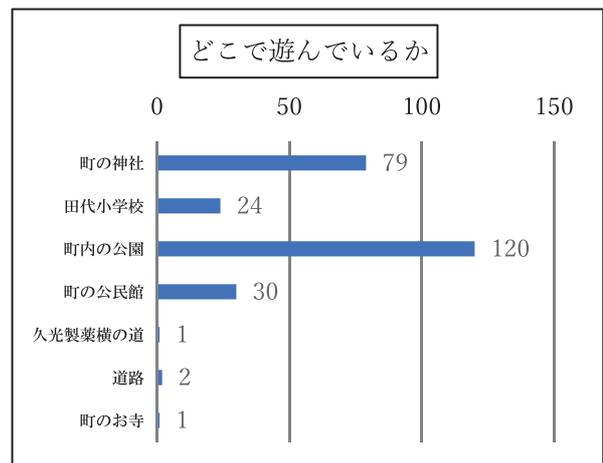
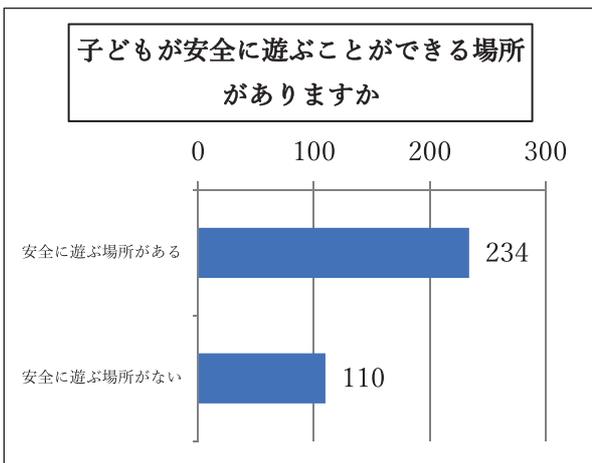
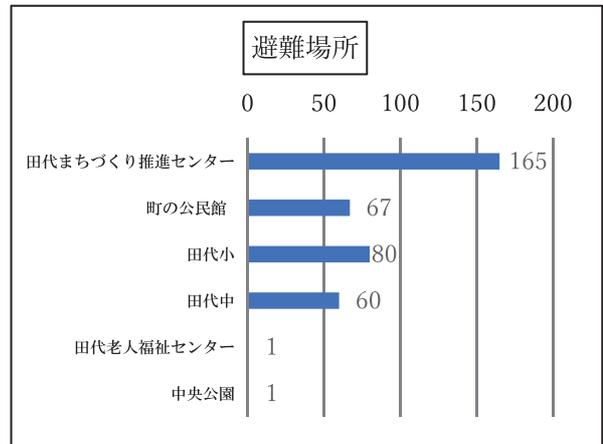
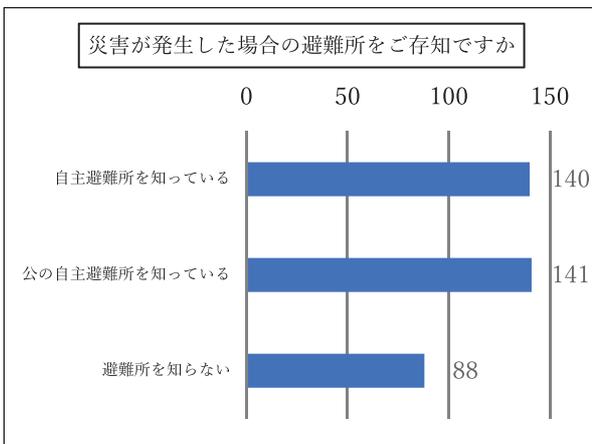
一人一役によるまちづくりへの参加をどう思われますか





趣味・特技 回答の一部

華道	絵手紙	ソフトバレー	手芸	読書	園芸	家庭菜園	踊り・ダンス	ウォーキング	ジョギング	謡曲	楽器演奏	コーラス(歌)	ゴルフ	釣り
モルック	鉱物採取	野球	スポーツ	登山	パソコン	漬物作り	料理	習字	ドライブ	ヨガ	映画鑑賞	旅行	写真	アマチュア無線
オーディオ	観賞魚	ピオトープ	DIY	カラオケ	囲碁	川柳・詩	編物	グラウンドゴルフ	卓球	大正琴	ボランティア	アルジ・メトフター	将棋	ボードゲーム
コミュニティ作り	そば打ち	ペット	習字	スイミング	鉢植え	木工	サッカー	英語	剣道	川柳・文芸	音楽鑑賞	薪割り	ボーリング	スポーツ観戦



田代地区現況マップ



田代昌町公民館



田代新町上町公民館



田代外町公民館



田代外町住宅区公民館



田代大官町公民館



加藤田町公民館



田代本町公民館



永吉町公民館



田代まちづくり
推進センター



3 田代の将来像



(1) 田代を特徴づけるもの

■ 鳥栖ジャンクション

九州を南北に縦断する九州自動車道と、九州を東西に横断する長崎自動車道・大分自動車道を接続する、東洋一の規模を誇るジャンクションで、上から見ると幸せを呼ぶクローバーにも見えます。また九州自動車道と長崎自動車道をつなぐ橋は、「サガンクロス橋」とも呼ばれています。ジャンクションは、異なる四方向の人が手を結び交流することから、地域住民の絆づくりにも応用可能であり、自動車道は九州各地とつながっていることから、地域外との交流・連携にも応用可能です。

■ 長崎街道田代宿

田代は、江戸時代、対馬藩 1 万 3 千石の田代領の政治の中心であり、宿場町でした。ここには、代官所や藩校の東明館、幕府の高札場、問屋場、上使屋がありました。また、ここを通る人々の旅日記に「人家500軒ばかり」「茶屋、宿屋多し」と記していることから賑わっている様子が伺えます。田代領の町場として田代町のほかに瓜生野町があり、酒屋、麴屋、油屋、代官所の許可を受けた売薬人などの商人が多くいたようです。

■ 中富記念くすり博物館

田代から基山町にわたる一帯は、慶長 4(1599)年に対馬藩田代領となり、江戸時代中期に「田代売薬」が起こったところです。地の利を活かし、長崎街道や薩摩道を経て西日本各地に売り歩き、以後、この地区に社会面及び経済面で大きな蓄積を残しました。先達の活躍に思いをいたすとともに、「くすり」の文化遺産を通してくすりに関する産業文化を後世の人々に伝え、これからのくすり健康について考える生涯学習の場として設立されています。

■ 古墳・遺跡・仏閣

田代には、田代太田古墳などの国指定史跡に代表されるような古墳や史跡と神社、仏閣が多数存在し、地区全体が歴史資源の宝庫となっています。

(2) ふれあい・交流のシンボル

■ 田代まちづくり推進センター

田代地区市民が集まり、ふれあい交流し、絆が生まれる場となっています。

■ 田代小学校、田代中学校

子どもは地域の宝です。次世代を担う子ども達のために若い親から高齢者まで、互いにふれあい・交流し、子ども達を守っています。

(3) まちづくりの基本理念

田代は、田代太田古墳などの国指定史跡に代表される古墳や遺跡の宝庫です。江戸時代には長崎街道田代宿で賑わい、西日本各地に田代売薬を売り歩くなど、その昔、田代は笑顔あふれたおもてなしの心を持つ、売り込み上手な、ふれあい・交流人が暮らすところでした。現在は、東洋一の「鳥栖ジャンクション」が九州の各主要都市を結び、長崎方面には「サガノクロス橋」が架かるなど、人と人、地域と地域をつなぐ拠点となっています。

このような田代の特徴ある歴史と文化、先人の精神や行動を今に引き継ぎ、笑顔あふれる地域の絆を大切にしたい、ふれあいによる、安全安心な、元気な田代をめざします。

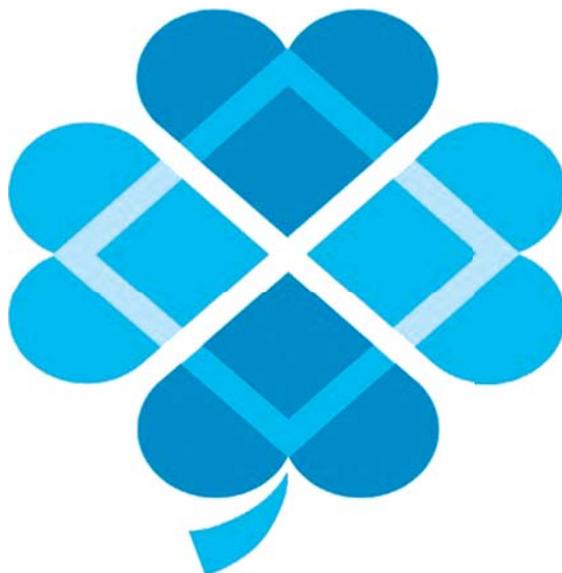
以上のことから田代地区がめざすべき、まちづくりの基本理念を次のように位置づけます。

『 笑顔あふれる地域の絆で支えあい
地区の歴史・文化を継承し
多世代交流を深め、元気あるまち 』

(4) 田代地区シンボルマーク

田代地区の皆様からシンボルマークを募集しました。

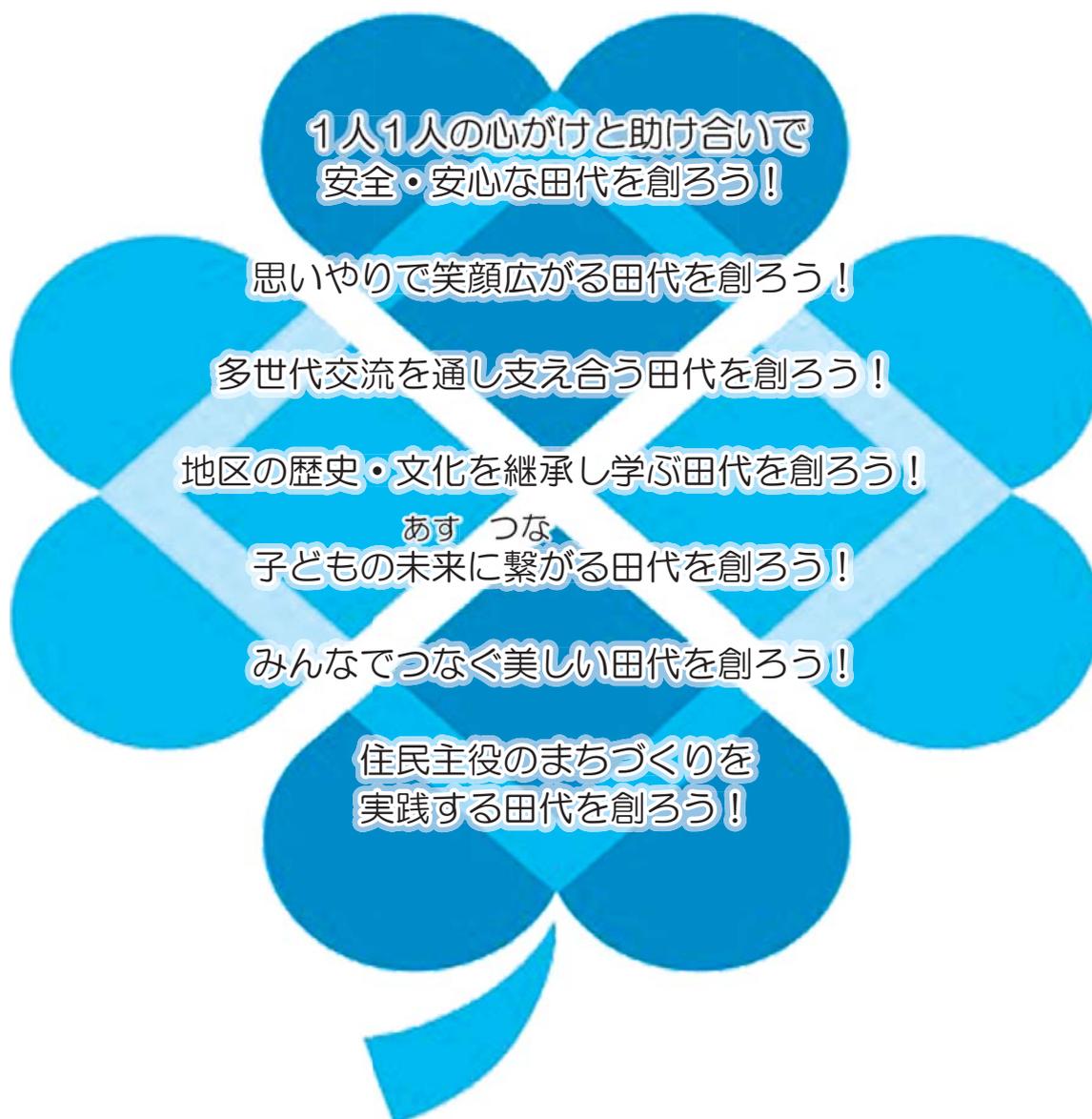
「田代に幸せを呼ぶ四つ葉のクローバー」のテーマに添った18件の応募があり選考の結果、下記のマークに決定されました。



4 まちづくり推進計画

田代地区が抱える主要課題別に、それぞれ将来像実現に向けての基本テーマを設定し、その基本テーマに沿って各種事業を展開します。

主要課題	将来像実現に向けての7つの基本テーマ
日常における不安の高まり	1人1人の心がけと助け合いで安全・安心な田代を創ろう！
まちの活性化	思いやりで笑顔広がる田代を創ろう！
人と人との結びつきが希薄化	多世代交流を通し支え合う田代を創ろう！
地域をあげての生涯学習の推進	地区の歴史・文化を継承し学ぶ田代を創ろう！
子育てや青少年の健全育成	子どもの ^{あす} 未来に繋がる田代を創ろう！
環境・美化の推進	みんなでつなぐ美しい田代を創ろう！
住民主役のまちづくりの実践	住民主役のまちづくりを実践する田代を創ろう！



(1) 1人1人の心がけと助け合いで安全・安心な田代を創ろう！

■ 交通安全

交通安全教室など

■ 防災・防犯関連

避難訓練、防災訓練、防災イベントなど

■ 暮らしの安全安心

市消費生活センターの出前講座など



(2) 思いやりで笑顔広がる田代を創ろう！

■ あいさつ運動

あいさつ運動など

■ 行事・イベントの活性化

長崎街道まつり、糸びす市の復活など



(3) 多世代交流を通し支え合う田代を創ろう！

■ スポーツ交流・健康づくり・国際交流

スポーツ教室、健康教室、のんびり健康あるきなど



(4) 地区の歴史・文化を継承し学ぶ田代を創ろう！

■ 地元学

文化祭、ものしり帖の活用

田代小学校フィールドワーク

田代中学校学習支援、地域の匠の活用など



(5) ^{あす つな}子どもの未来に繋がる田代を創ろう！

■ 田代っ子育成

地域の匠による昔遊び、子ども料理教室など



(6) みんなでつなぐ美しい田代を創ろう！

■ 環境美化モラルアップ

ゴミ拾いウォークラリー、カーブミラー清掃など

■ 景観向上

花いっぱい運動など

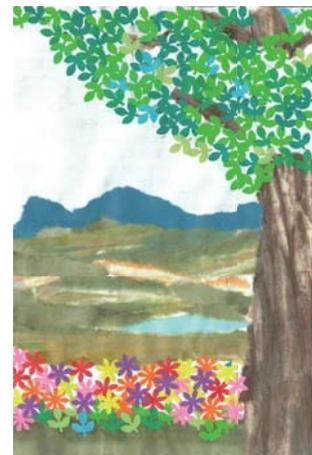
■ 地域清掃

地域一斉、各家庭前道路清掃活動など



(7) 住民主役のまちづくりを実践する田代を創ろう！

- ❁ 短期・中期・長期のスケジュールを立てる
- ❁ 田代地区文化祭
- ❁ 自治会の活性化
- ❁ まちづくり計画の実行チェック
- ❁ 田代地区まちづくり通信による情報発信



5 まちづくり推進計画一覧表

テーマ	事業名	短期	中期	長期	担当部会名
		R4~R6	R7~R10	R11~R13	
1人1人の心がけと助け合いで安全・安心な田代を創ろう！	交通安全	→	→	→	安全環境美化部会
	防災・防犯関連	→	→	→	
	暮らしの安全安心	→	→	→	
思いやりで笑顔広がる田代を創ろう！	あいさつ運動	→	→	→	安全環境美化部会
	行事・イベントの活性化	→	→	→	地域交流部会
多世代交流を通し支え合う田代を創ろう！	スポーツ交流・健康づくり・国際交流	→	→	→	地域交流部会
地区の歴史・文化を継承し学ぶ田代を創ろう！	地元学	→	→	→	地域交流部会
子どもの ^{あす} 未来に繋がる田代を創ろう！	田代っ子育成	→	→	→	地域交流部会
みんなでつなぐ美しい田代を創ろう！	環境美化モラルアップ	→	→	→	安全環境美化部会
	景観向上	→	→	→	
	地域清掃	→	→	→	

6 まちづくり推進計画推進体制

田代地区まちづくり推進計画の推進は、現在の田代地区まちづくり推進協議会の組織を基本とします。

ただし、必要があれば、今後のまちづくり活動の進捗に応じて、活動に適した組織の見直しを行います。

《田代地区まちづくり推進協議会組織図》



7 まちづくり推進計画策定までの経過

まちづくり推進計画策定までの経過			
令和3年	策定委員会	役員会	運営・専門部会・臨時総会
6月21日		第3回役員会	
7月 7日		第4回役員会	第2回運営委員会
7月20日			第2回専門部会
8月 4日	第1回策定委員会	第5回役員会	
8月20日			第3回専門部会
9月 1日	第2回策定委員会	第6回役員会	
9月21日			第4回専門部会
10月 6日	第3回策定委員会	第7回役員会	
10月20日			第5回専門部会
11月 9日	第4回策定委員会	第8回役員会	
11月19日			第6回専門部会
12月 1日	第5回策定委員会	第9回役員会	
12月20日			第7回専門部会
令和4年			
1月12日	第6回策定委員会	第10回役員会	
1月20日			第8回専門部会
2月 2日	第7回策定委員会	第11回役員会	
2月21日			第9回専門部会
3月 2日		第12回役員会	第3回運営委員会
3月17日			臨時総会

- 【 表紙絵 】 内村 正巳さん・深雪さん(田代本町)
- 【シンボルマーク】 矢野 日向子さん (田代外町)
- 【 歴史寄稿 】 藤瀬 禎博さん
- 【 挿 絵 】 藤田 新東さん (田代昌町)
- 岡田 マキ子さん (田代大官町)
- 橋口 絵美さん (田代本町)
- 勢田 陽向さん (田代中学校3年生・田代本町)



【編集・発行】令和4年3月発行
田代地区まちづくり推進協議会
〒841-0017 鳥栖市田代大官町 1958 番地
田代まちづくり推進センター内
TEL 0942-82-2704 FAX 0942-55-4301